

# 公德心

「先生これやっつくわ〜。」「こんなことしたねん!」、「休みの子の分もやっといたよ!」  
4月に野村中学校に来てから、このような感じのことをたくさん言われるようになりました。

今月の月間目標は、『公德心』です。『公德心』とは、『社会生活における道徳(公德)を重んずる心』という意味です。難しい言葉ですね。具体的には「ルールや決まりを守り、公共の利益のために進んで力を尽くす心」が公德心にあたります。みなさんはこの言葉の意味を知っていましたか? 私は22年間生きてきて、この言葉を聞いたことすらありませんでした。しかし、野村中学校で8か月間過ごした今では、『公德心』とは「野村中学校の生徒なら誰でももっているもの」だと私は思います。

野村中学校には、素晴らしい取り組みがたくさんあります。その1つが、冒頭の会話に関するものです。冒頭の生徒のように『学校という社会の場で、自ら進んでみんなのために動くことができる人』って、まさに『公德心』に富んだ人だと思いませんか? そしてそんな人には思わず「Good Job!!」と言いたくなりますよね。それが形になったものが Good Job チケットです。友達の整理整頓を手伝ってくれる人、ケガしないようにと体を張ってけんかを仲裁する人、トイレのスリッパをいつもそろえてくれる人、授業中に前向きな声掛けをしてくれる人などなど、野村中学校にはクラスの中やみんなの見えていない場所で Good Job な行動があふれています。どれもこれもみんなの『公德心』のあらわれであり、そしてみんなの『公德心』のおかげでみんなが過ごしやすい学校になりつつあると思います。

また、中学校には体育大会や合唱コンクールなどの学校行事もあります。普段はおとなしくあまり目立たない子が、いつも活発で元気な子が、ときどき先生に怒られているあの子が…全員が全員クラスのために体育大会では全力で走り、合唱コンでは真剣に歌っていました。あの時間はみんなにとっても思い出深く輝かしい時間になったと思います。これもまた、みんなが共通してもつ「クラスのために」という、ある種の『公德心』によって、作り上げられたものだと思います。反対に、みんなの「クラスのために」という公德心がなければ、少しでも欠けていれば、あのような素晴らしい時間はなかったと思います。

このように、『公德心』は一見難しくなじみのない言葉のように思えますが、実際のところ『公德心』とは、野村中学校の生徒なら等しくもっている「みんなのために」という素晴らしい心のことです。そして、みんなの『公德心』のおかげで学校生活や学校行事がより素晴らしいものになっています。ただ、みんなが過ごす社会生活の場は学校だけではありません。塾や電車、コンビニなど家から一歩出ればそこはもう他者と共に過ごす社会生活の場所です。そういった学校以外の場所でのふるまいを今一度振り返り、社会の一員として学校内と同じように公德心あふれる行動を尽くし、より良い生活を作り上げていってほしいです。